

技術士 1 次試験に合格して



坂田 陽一

(さかた よういち)

勤務先

株式会社 PROBIT

〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 4 マルホビル 4 階
TEL 011-676-6102 FAX 011-351-5451
E-mail sakata@probit.co.jp

■ 専門：情報工学

自己紹介

私は苫小牧出身の 43 歳です。高校・大学でソフトウェア(プログラミング)について学びました。卒業後は、中堅 SI 企業、大手 SI 企業、ベンチャー企業などを経て、2018 年札幌で起業致しました。

現在の仕事は、WEB(業務)システム開発、ネットワーク設計をメインに対応しています。過去は携帯電話のソフト開発、カーナビ開発、通信機器のルータなど組み込み系も多数経験しました。

私生活では、2 児の父として週末は子供と遊ぶよう時間を作るようにしています。

受験のきっかけ

数年前に技術士(電気電子部門)の方とお仕事をさせていただくことがあり、その時に初めて技術士という資格について知りました。その方から、「情報工学もあるから、受験してみたら？」と声をかけていただきました。その時は、基礎科目の 1 問目をみて、問題集を閉じて終了致しました。

社内で資格手当の基準を作成する際に、技術士(情報工学)も含めてみました。その時に、社員に推奨する以上、自身も取得した方がよいと考え受験することを決意しました。

学習方法

私は情報工学部門で受験しました。幸い専門科目が免除になる「情報処理安全確保支援士」を取得済みのため、「基礎科目」と「適性科目」に集中して学習することができました。

主な学習は、直近 3 年分の過去問を繰り返し解いていました。その際に、解説の読み込みや理解するようにし、不明点はインターネットや参考書を見て

確認していました。ネットでも、過去問を解くことが可能ですので、通勤時間や昼休みなど、隙間時間を活用して解いていました。

学習時間の割合としては、基礎科目が 8 割、適性科目が 2 割で学習していました。

受験体験

基礎科目については、解けそうな問題を探して何とか正答を導き出すよう苦心していました。正直、業務で使用していない知識も多く、過去問を解きながら、読んだ解説のおかげで何とか突破することができました。自己採点で合格点を越えたタイミングでガッツポーズするくらいうれしかったです。

適性科目については、過去問と法令さえ確認できれば、問題なく合格点は取れると思います。

今後に向けて

今年 2 次試験を受験します。諸先輩方の受験体験を伺い、自身の技術向上も目指し、1 日も早く技術士になれるよう精進します。将来、資格を持つエンジニアがしっかりと仕事ができるような環境を作っていきたいと思っています。

さいごに

今回の祝賀会で、2 次試験合格までは参加を見送ったほうがいいのかと考えておりました。ただ、異業種の技術者と交流する機会はないと覚悟を決めて参加しました。

異業種の技術者と交流は良い刺激であり、自身も自己啓発を進めていこうと思いました。

また、技術士会の会合にも積極的に参加していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。